２０２６年７月　せとまちトーク　フリーテーマの意見（３０枚・４２件）

件数	①瀬戸をどんなまちにしたいですか？「こんなまちになったらいいな！」など理想は？	②理想のまちになるために不便と思っていること困っていることは？	③なぜそう思うのか背景や原因は？	④解決策などがあれば教えてください	所管の委員会
1	若者も再出発できるまち	一度勝ち組に（なったと思うだけ）なったら、それを守ることのみに終始する。	従来の教育の画一化がそうさせたか	例）夏休みの画一した宿題は廃止し。自ら課題を見つけそのプロセスを大切にして、自分でまとめ発表する。	
2	市民の意見が出しやすく、市民の思いに立った生活がしやすい予算立てをお願いしたい。	今のところは車の運転ができるが・・・間もなく難しくなっていた場合、手軽に出かけられる手段が欲しい。	交通手段が現在難しいと思うが、今私にとって身近な問題。		
3	1300年の歴史が簡単にわかるようにしたい。将来の夢を持ちたい。歴史とモダンの融合したもの。緑の維持。あまり具体化できない。	市のまちづくりの将来ビジョンが感じられない	産廃が多い。市の核はどこなの？尾張瀬戸？中水野？新瀬戸？	市がビジョンを示す！専門家、市民、行政が真剣に話し合いをする。	
4	遊びまくれる（瀬戸を）出ずに楽しめるまち	娯楽が足りない。交通アクセス悪い。カフェが欲しい。	道は混んでるし、バスは少ない。屋内型レジャー施設がほしい（ラウンド１など）	駅前を開発する。若者が楽しめる場所が欲しい。	
5	美しい街にしよう	建物の外見（外観？）が悪い。古くさい。通過点。	図書館の外見、ロータリーのさびしさ。何も特色がない。	リニューアル。移動。陶器でインスタ映えスポット。	
6	若者が住みたいまちと思えるようなまち	瀬戸の良いところがパッとしない。どのような市か分かりにくい。	瀬戸市について全然知らない。	特徴ある市にする。（私の市では子育てにものすごい力を入れています。）	
7	駅がにぎやかなまち	遊ぶ場所がない。駅の周辺に土地がない。	駅前にスペースがない。	新瀬戸は若者や市民向けにして、尾張瀬戸は終点で来る理由が必要なので観光向けにする。	
8	AIに強い町	陶生病院が４G対応なのが不便。	時代の流れの中で、絶対に外せないものになったため。	スマホの活用法を市民全体で（が）使えるようにしていく。	
9	子育て世代に支援が多い市	子どもが少ない	市民の理解度が少し足りないと思う。	行政が団体などへの理解を示して予算をつけていく。	
10	若者・子育て世代が集まるまち	瀬戸出身者がまた瀬戸市に戻る。「戻ってこられるまち「住みたいまち」	仕事・職場・教育	戻ってきた人へのアンケートやインタビュー。全体のアップよりも一つの大きな成功事例。	
11		①地域・担い手不足（定年延長による）②自治会に加入しない人が増加。	①休日数を増やすことで地域の仕事ができる。②共働きが増加	AI活用、週休２日→週休3日等	
12	自然を活用したみんなが楽しめるまちにしたい。	意見を述べる機会が少ない	自治体と市との連携不足と感じる。	意見交換、話し合い。	
13	安心して住めるまち、帰りたくなるなまち（リターン）、自慢したくなるまち、誇れるまち。	道路計画を何とかしてほしい。車での乗り入れが悪い。	通勤時、休日時の渋滞がひどい。		

14	市民が活動できるまち。クリエイティブ的な活動。	表現できる場がない	他の市よりクリエイティブな人が集まりにくい。旭タワーみたいな場、ステーションAI、常滑りんくうビーチ、ミュージック、イノベーションなど	場をつくる	
15	子どもや親、お年寄りが安全安心して暮らせるまち。若者が犯罪に巻き込まれず活躍できるまち	犯罪をよく耳にする。活躍の場が少ない。成長した先が見えない。	まちの活気が感じられる場が少ない。逆にさびれた場所が中心地においてもみられる。	中心地に若者を呼び込める店などを作る。市も参加する。大須などをモデルにする。	
16	若い世代が住み続けたいと思う街	もう少し利便性があると良い。			
17	陶都再生（瀬戸線開通以降のイノベーション創発）	既存の地域資源にイノベーションを創発する発想に欠ける。行政とは異なる推進主体がない。	戦後日本の地域快活の失敗例による。	地域再生の計画（総合開発計画）の見通し。行政主導などではなく、議会が主導で。大学の知見も必要。	
18	地域活動の担い手不足を	高齢化、定年延長、共働きで忙しい。		週５日労働を４日にし。余力を有効に使えるようにする。	
19	観光について。特におススメ！！をまずは絞る。	情報が多すぎる。もう少し絞り込んでほしい。			
20	住みやすい（交通の便が良い、適度に楽しめるイベント等がある）	山、坂などが多いにもかかわらず、交通手段が少ない。	公共交通がほとんどない。		
21	クリエイティブな場所づくり。	クリエイティブな場所づくり。自然を生かす。意見を述べる場所、フリートークできる場所。	音楽、地域の理解。	・・自然を生かす、意見を述べる場所、フリートークできる場所	
22	生まれてから死ぬまで住みたい町	交通事情	道路が狭い中を子どもたち（中高生等）が自転車で行きかい危険。年をとると自動車運転が負担。	自動運転試験地域にしてお金を稼ぐ。市の手続きをできる限り電子化して、浮いた人員で企業誘致やPR活動を強める。	
23	図書館リニューアル後の様子が知りたい	学びの場として、人の交流が少ない。 坂道の駐車場。		電子、点字図書スペース、デジタル化の時代にあった発信型、AI・電子、デファレンス機能の向上、企業の協力を求めて企業版ふるさと納税を利用する。図書の返却場所を増やす。リニューアルオープン後の様子が知りたい。	
24	グルッポふじとう・ノキシタプレイスのような空き施設利用				
25		情報伝達の課題（いろいろあるのが良いのか悪いのか）			
26	瀬戸市全体をもっと盛り上げていく			行政は企業と共に未来を創っていくようにする。瀬戸の産業だけでなく、各企業からの協力を求めていく。	

27	コミュニティバスを利用しやすく路線を増やす				
28	ゴミ収集場所を増やす。プラごみ週１回				
29	部活を増やす	部活活動日数が少ない	去年に比べて少なくなっている。		
30	子どもも親も経済的に住みつづけやすい街	街の中心地の新瀬戸駅前のにぎわい不足	利便施設の分散、駐車場不足	新瀬戸駅前に複合商業施設（商業・業務・住居）の開発。子ども送迎ステーション。図書館。P&R駐車場。	
31	人が来てくれる街、人が通る街	道路交通、とくに南北方向をスムーズにする。	道路が古いまま。鉄道の踏切を通るのに時間がかかる。	バイパスをつくる。窯神山を平地にして道路を穴田に抜けさせる。信号を踏切を同期させAI制御する。	
32	健康寿命の長い街	健康づくりの場所、楽しく歩けるルートが少ない。	瀬戸川の両側を活用していない。	陶生病院を中心に健康推進の場所づくり。	
33	情報が行き渡るまち、関係人口を増やす	情報発信がされていても伝わっていないことが多い。	いいイベントがあったり、情報があったりしても「知らなかった」と言われることが多い。	媒体をまとめてその媒体のことをもっとアピールする。ラジオもぜひ！市外に出た方が瀬戸をPRしてくれるのは嬉しいです。	
34	やさしく思いやりのあるまち	近所に高齢者の独居の方も多く、お手伝いできない時もあり心配。（介護認定のない人）	選挙やマイナンバー申請などサポートしているけれど、できない時もある。	いざという時に助けてくれる大人版ファミサポがあると良い。	
35	コミュニティバスが便利で使いやすく、行きたいところにすぐに行けるように	コミバスで目的地に着くのに大回りしないとできない。	路線が少なすぎる。	細かく地域を分けて小回りする。バスの大きさを小さくする。	
36	市民プール・体育館、児童館などを便利に	今ある施設が老朽化している。数が少ない。	市民のために税金を使っていない。	市民の要求にあわせて改築・新築などをする。	
37	今の時代の流れに乗った行政へ	市民が困り事を言える場所を作ってほしい。	インターネットで世界中が繋がっているから。	個人の意見を聞ける時代になっているので、どこでも意見を受け付ける体制にしていく。	
38	ゴミの収集、不燃ごみについてい。	申込がめんどう	インターネットが使えない	月１回収	
39	人を呼べるアートの街へ			国の各庁をむすぶ。ロビイストみたいな人を活用して、？？？税務署、保健所、商工会議所など連携してもらえるように、合同庁舎を完成させる。	
40		コミュニティバスの不足。道路整備の遅れ。	交通弱者の対応ができていない。瀬戸は区画整理事業が地理的にできない事情があり、都市計画道路よりまちづくりをする。	他市に比べてみても予算的措置の不足。旧まちを保存しながら。	
41	産廃がこれ以上増えないまち	度々産廃問題が発生して不安になる。	また新たに産廃ができると知り、既に瀬戸市にたくさんあると聞いたのでど、うしてこれ以上受け入れてしまうのか疑問に思いました	制限などがかけられないかなと思います。	

42	親も子どもも年代問わず育つまち	学区の統廃合で地域とのつながりが減った。 不便ではないけど大丈夫かなと思う。	にじの丘で学校や地域に関心を持ちづらい保護者がどうしても多い。仕事もしていて仕方ないけれど、どんどん離れていると思う。	一緒に考えてくれる人が増えたらいいなと思います。	